

様 (ID \_\_\_\_\_)

予約日： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 曜日)  
午前 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分までにおいで下さい。

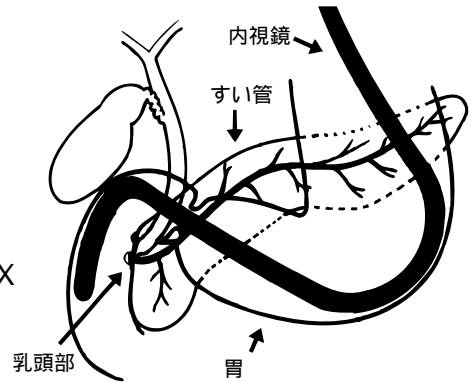
この用紙を受付にお出してください。

以下のことにご注意ください

- 前日の夕食はおそくても午後9時頃までにとってください。
- 当日は昼食をとらずにおいでてください。朝は流動物のみとってください。
- 内服中の薬がある方はご持参ください。

内視鏡的逆行性膵胆管造影 (ERCP)とは

- ERCPは、膵管および胆管(胆嚢)の情報を得るための検査です。
- ERCP専用の内視鏡を、胃の少しむこうにある乳頭部(膵管と胆管の出口)まで進め、膵管あるいは胆管に細い管を挿入します。その後、造影剤を注入し、X線撮影を行います。



ERCPの準備について

- 胃・十二指腸の動きを抑えるための注射をします(グルカゴン)。咽頭麻酔(のどの麻酔)をします。
- 麻酔薬(キシロカイン)は、歯科の麻酔で使うものと同じ薬です。抜歯時などに気分が悪くなったことがあるかたはお申し出ください。
- 内視鏡検査が苦手なかた(とくに嘔吐反射の強いかた)は、神経の緊張を抑える注射(ジアゼパン)をしたほうが良い場合もあります。その場合には、検査後にふらつきが残ることがあります。当日は車の運転をしないようにしてください。

検査について

- 検査時間は約5-10分です。
- ERCPは安全な検査法です。合併症はほとんどが急性膵炎で、発症率は0.09%といわれています(日本消化器内視鏡学会誌 37:642-643,1995)。

神経の緊張をとるお薬の注射を希望されますか？

(はい、いいえ)

予約日を変更されたい方は088-885-6200までお電話下さい。